

2023 年 3 月 27 日

「Japan Open Chain」の共同運営者への参画と 社会課題解決に向けた web3 サービスの検討開始

NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、日本ブロックチェーン基盤株式会社が管理・運営する「Japan Open Chain」(以下、本ブロックチェーン基盤)に共同運営者として参画し、社会課題解決に向け、本ブロックチェーン基盤を活用した web3^{※1} サービスの検討を開始します。

1. 背景

ブロックチェーン^{※2}はさまざまな基盤が存在しますが、ビジネスで利用する上で法的・技術的な課題があります。例えば、運営主体や運営方針が日本の法に準拠しているかが不明瞭であることやサービス提供に必要な処理にかかる手数料が高騰していることなどがあげられます。既存のブロックチェーン基盤のビジネス利用が難しい状態のため、安心・安定して利用できるブロックチェーン基盤上での web3 サービスの検討が求められています。

2. 取り組み概要

本ブロックチェーン基盤は運営者が明確かつ日本法に準拠した運営を行っていることから、日本企業が安心して web3 ビジネスを行うことができる基盤です。Ethereum^{※3} 完全互換で高速かつ必要十分な分散性と高いセキュリティ性能および安定性を実現しています。

NTT Com は、共同運営者として参画し、他の共同運営者とともに日本企業が安心して利用可能なブロックチェーン基盤を提供するとともに、自らも社会課題解決につながる web3 サービスの展開を推進します。

(1) 本ブロックチェーン基盤の管理・運営

- ・ ブロックチェーンに記録される取引データなどの妥当性検証
- ・ セキュリティ・性能・安定性の向上に関する技術検討

(2) 社会課題解決に向けた web3 サービスの提供

- ・ web3 サービスの社会実装に向けた検討
- ・ 仲介者を必要としない価値の共創・交換を可能とするサービスの提供

NTT コミュニケーションズ株式会社 広報室

NTT Communications Corporation Public Relations Office

〒100-8019 東京都千代田区大手町 2-3-1 大手町プレイスウエストタワー

OTEMACHI PLACE WEST TOWER 2-3-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan

Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

3. イベントへの登壇について

NTT Com は、3月28日～31日に開催される日本経済新聞社、金融庁主催「FIN/SUM2023 ～フィンテック、『シン個人』の時代～」のパネルディスカッションに登壇します。テーマは『web3 技術がもたらす新しい社会に向けて、国内企業が Japan Open Chain で「今」取り組む共創ビジネス』となっており、28日の14:45-15:15で登壇を予定しています。

■ 開催概要（詳細は公式 HP (<https://www.finsum.jp/>) をご確認ください。）

- ・ 日時：2023 年 3 月 28 日（火）～31 日（金）
- ・ 開催形式：リアル会場でのセッションとオンライン配信によるハイブリッド開催
- ・ 主催：日本経済新聞社、金融庁

<NTT Com が登壇するパネルディスカッション情報>

- ・ パネルディスカッション【3月28日(火) 14:45-15:15】

『web3技術がもたらす新しい社会に向けて、国内企業がJapan Open Chainで「今」取り組む共創ビジネス』

web3技術が与える影響が期待される金融領域と地方創生。実際にweb3ビジネスに取り組む企業の方々と共に、web3技術がもたらす新しい社会とそれを見据えて「今」何をすべきか？そして今後何をを目指すのか？視聴者の皆さまのweb3技術の理解と魅力が深まるディスカッションを行います。

【登壇者】

中野 誠 氏（NTTコミュニケーションズ株式会社 プラットフォームサービス本部 コミュニケーション&アプリケーションサービス部 第二サービス部門長）

川村 文彦 氏（コーギア株式会社 代表取締役社長）

渋谷 定則 氏（株式会社みんなの銀行 サービスデザイングループ グループリーダー）

近藤 秀和（Japan Open Chainファウンダー 当社・代表取締役CTO）

モデレーター：

稲葉 大明（Japan Open Chainファウンダー 当社・代表取締役CEO）

4. 今後について

本ブロックチェーン基盤の管理・運営を開始するとともに、2023 年末を目標に web3 を活用した新たなサービスの提供を開始する予定です。

※1：web3 は、ブロックチェーンを活用した分散型 Web で、データ改ざんリスクが低い・取引の透明性が高い・情報流出のリスクが低いなどの特徴を有する、新しいインターネットの概念です。

※2：ブロックチェーンは、改ざん耐性・透明性を持つ信頼性の高い分散台帳で、さまざまな経済活動のプラットフォームになる可能性を持つ技術です。

※ 3 : Ethereum は分散型アプリケーションやスマート・コントラクトを構築するためのブロックチェーン基盤の名称です。